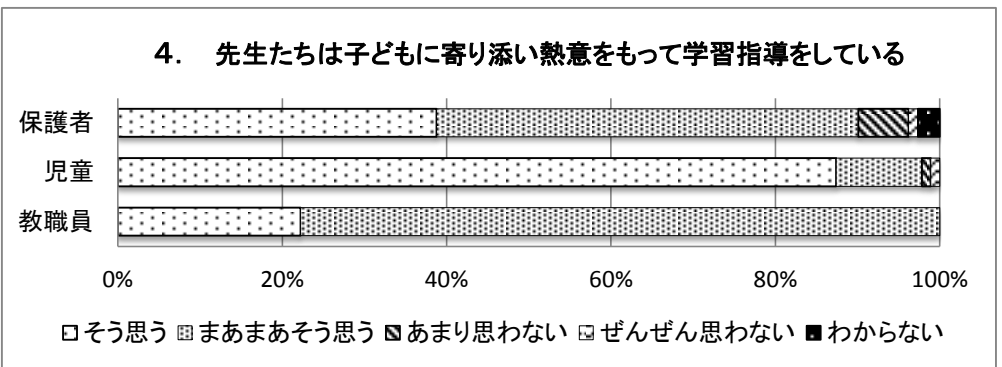
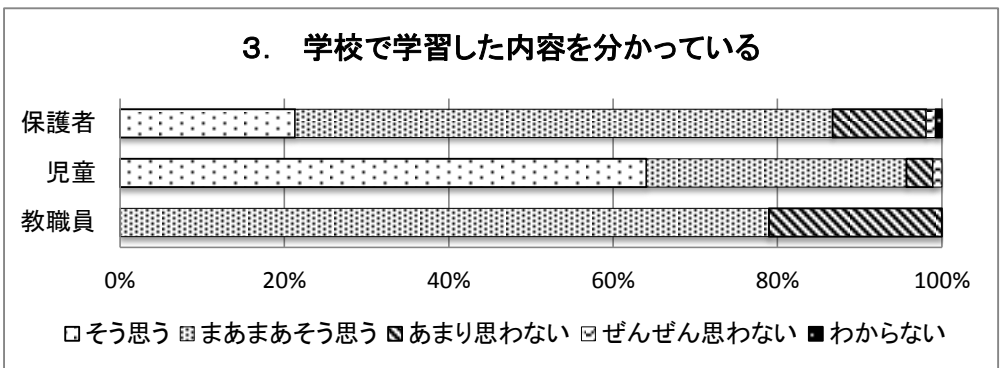
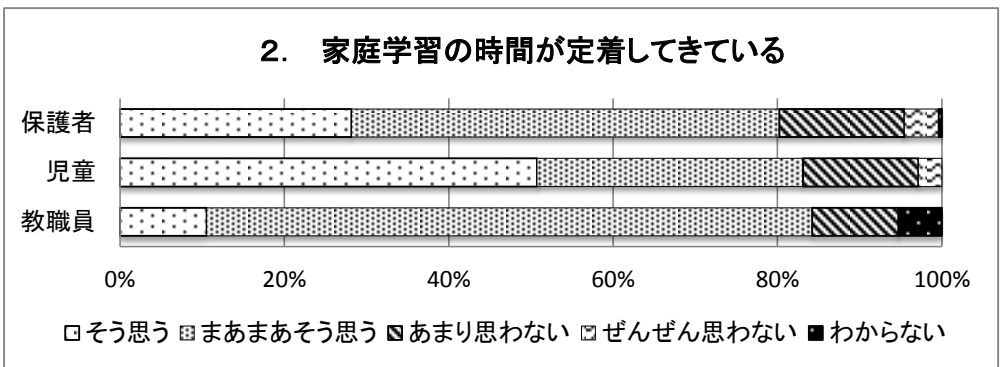
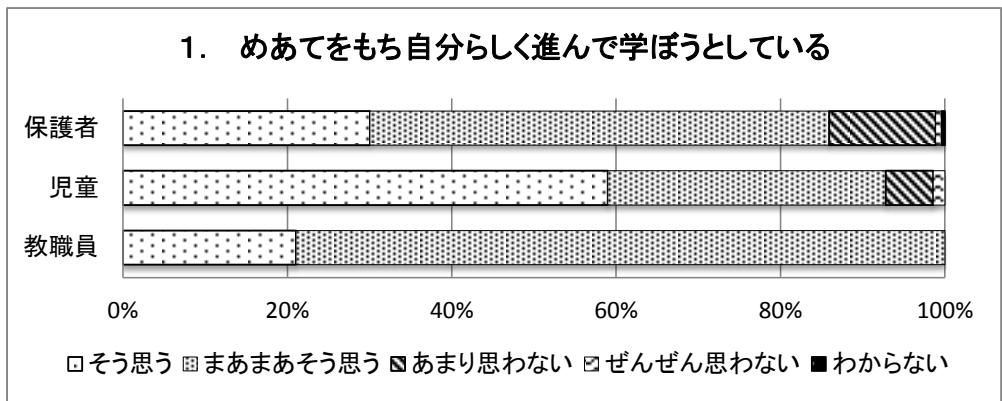
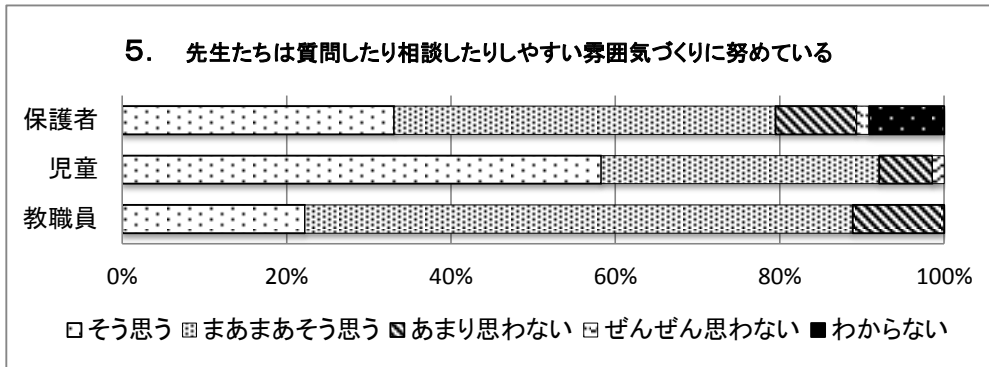
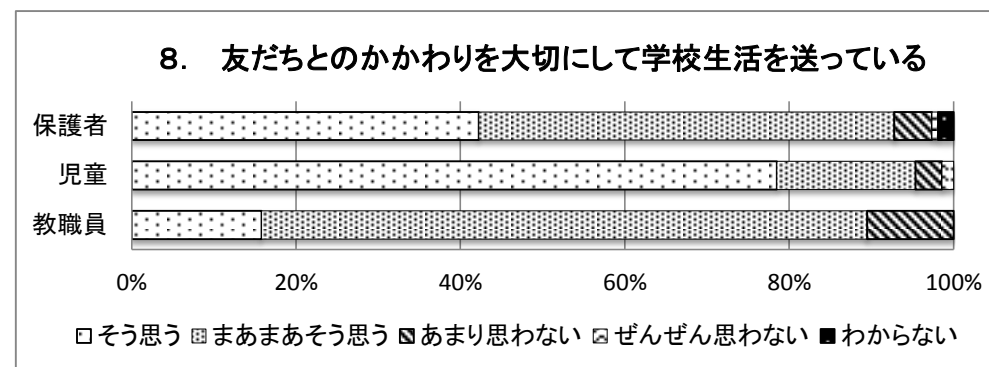
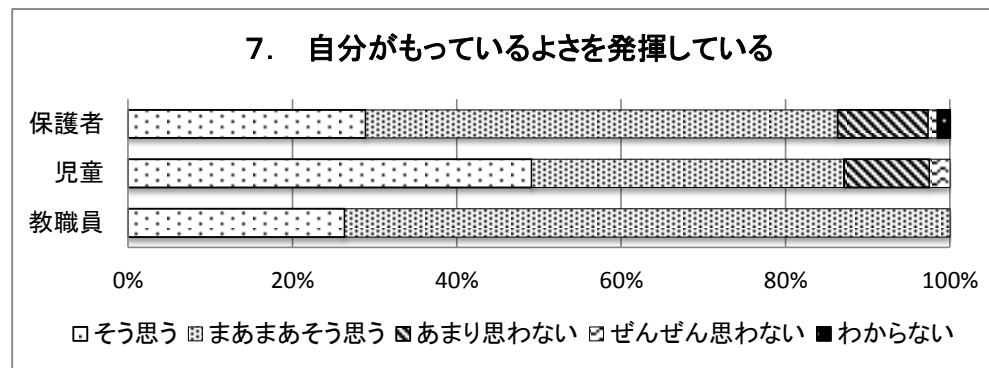
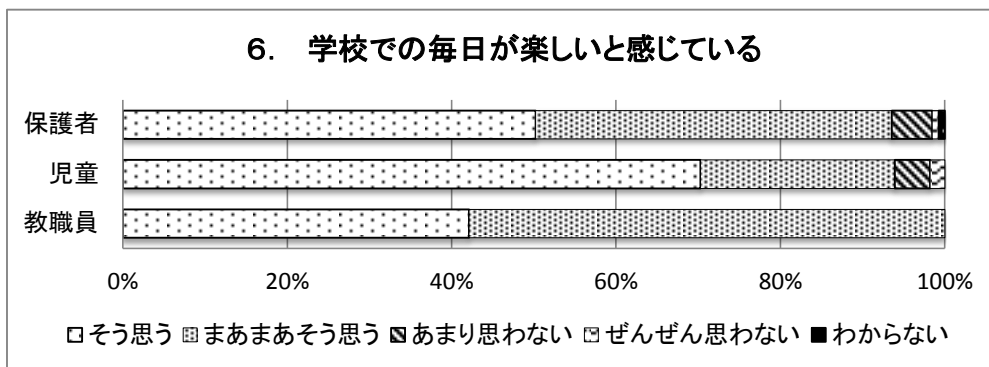


I かがやく子について ～夢につなげる主体的な学びと確かな学力～

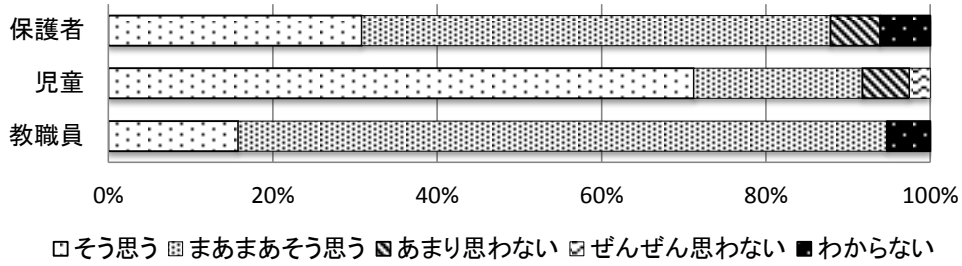




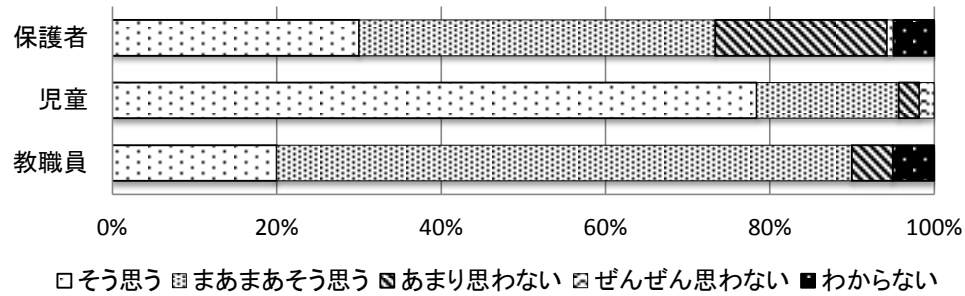
II やさしい子について ~夢をもたせる豊かな心~



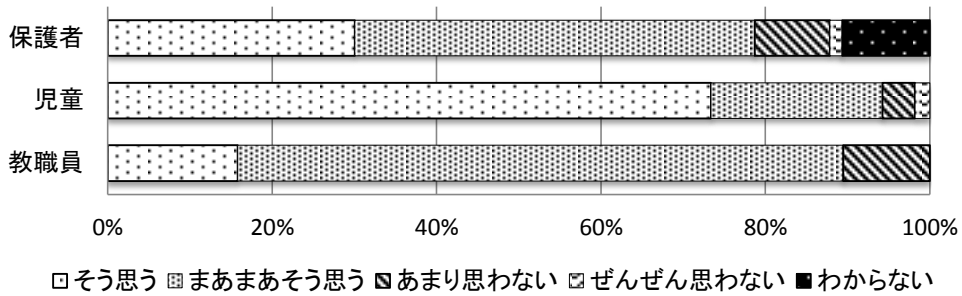
9. 「家の人から認められている」と思っている



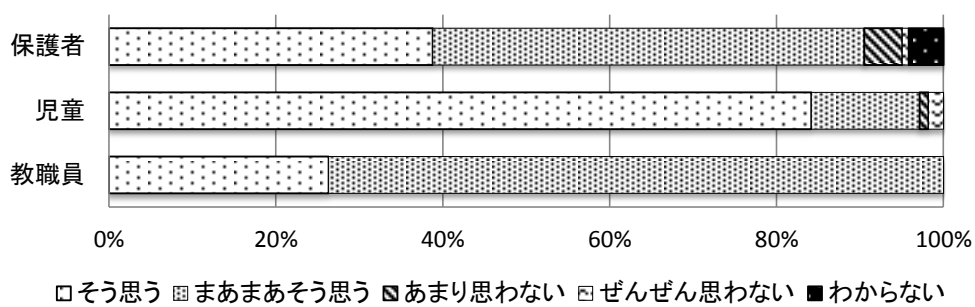
10. 子どもは将来の夢や目標をもっている



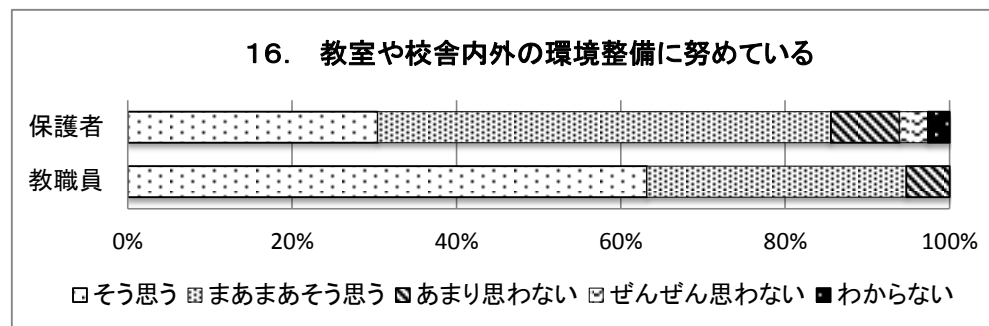
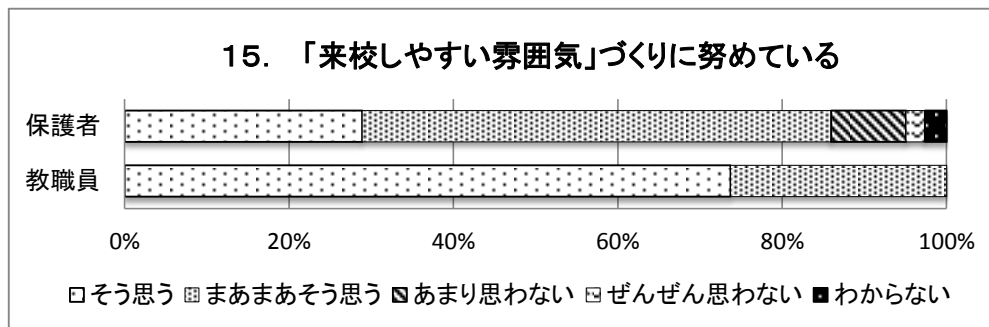
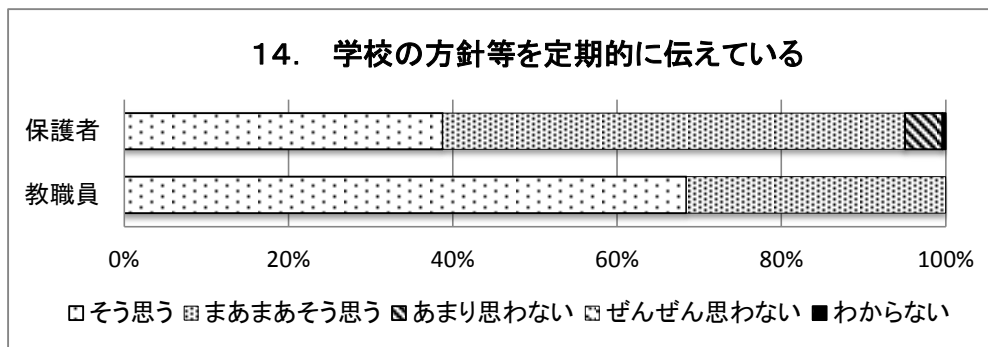
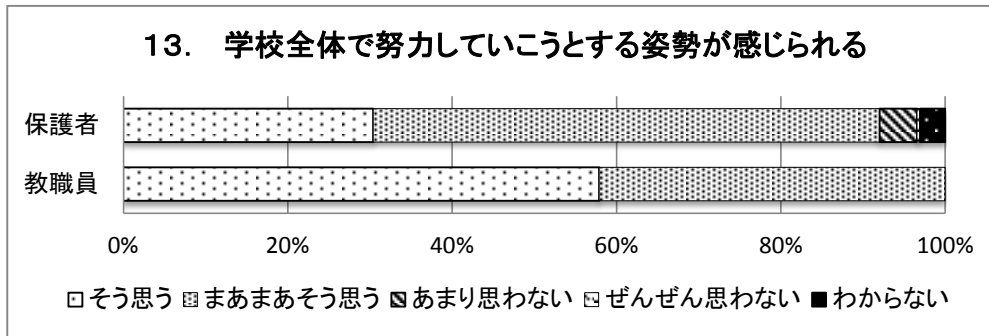
11. 子どもに夢(めあて)をもたせ、子どものよさを伸ばす指導をしている



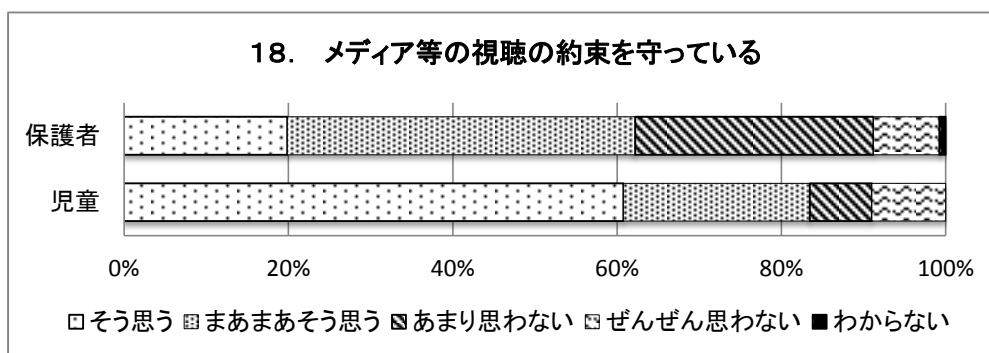
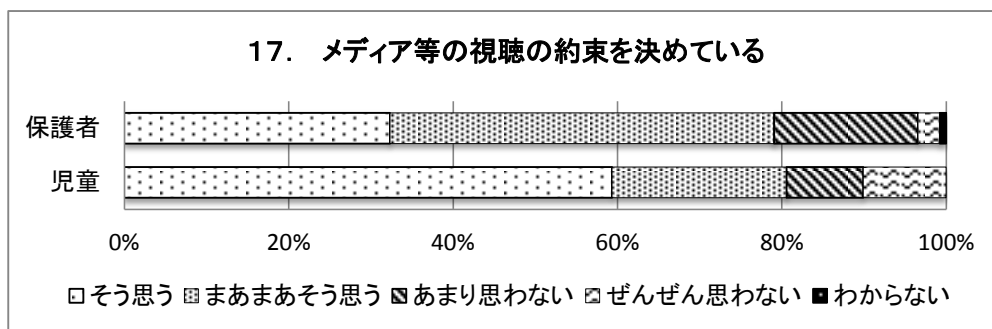
12. 子どもに寄り添い、成長を願い、生活指導をしている



Ⅲ 学校全体について



Ⅲ メディアの視聴・利用について



平成29年度 第1回学校運営アンケート

◇ アンケート結果から ◇



I かがやく子について～夢につなげる主体的な学びと確かな学力～

- ◇ ①の「自分の子どもは、めあてをもち、自分らしく進んで学ぼうとしている。」については、児童、教職員、保護者とも肯定的評価が全体の85%を超え、概ねよい評価になりました。特に、高学年の児童・保護者のA評価の割合が昨年度よりも増えています。低学年のうちから子どもがめあてを確かめながら、意欲的に学習に向かわせたいと考えています。

本校では、授業の始めに学習の「めあて」を確認し、授業の終わりには「まとめ」を行い、授業の振り返りを行っています。また、少人数学習やティームティーチング（Team-Teachingを略してTTと言う。）など指導体制の充実を図り、子ども一人一人に応じた学習支援に取り組んでいます。これからも引き続き児童の実態や学習内容に応じて、習熟度別学習などの学習形態を取り入れながら、子ども自身が主体的に学習に取り組むことができるような授業改善を進めていきます。
- ◇ ②の「自分の子どもは、家庭学習の時間が定着してきている。」については、保護者・児童・教職員ともに肯定的評価が80%以上で、昨年度に比べ家庭学習の時間が定着してきています。

本校では、学習推進部を中心に、漢字や計算などの基礎的・基本的学習内容の定着をねらいとする「家庭学習の習慣化」を具体的な実践事項として継続実践してきました。「家庭学習ノートリレー」「家庭学習ノート展」「家庭学習のめやす時間の設定」など、様々な取組を通して、家庭学習を軸に主体的な学習習慣の形成を図ってきています。質・量ともに充実した家庭学習になるように、家庭でも励ましを引き続きお願いします。
- ◇ ③「学校で学習した内容を分かっている。」④「先生たちは、子どもに寄り添い、熱意をもって学習指導をしている。」については、児童の肯定的評価が全学年で90%を超えていました。引き続き家庭との協力・連携を図り、一人一人に応じた分かる授業を目指して学習指導を行っていきたいと思います。
- ◇ ⑤「先生たちは、学習で分からないところを質問したり相談したりしやすい雰囲気づくりに努めている。」については、児童のA評価が昨年度より5.5ポイント下がりました。教師の忙しさが子どもたちの声に耳を傾ける時間が取れないことにつながっているのかもしれませんが、いつでも子どもの声に心を傾け、子どもが安心して何でも話せる環境づくりに心がけていききたいと思います。



II やさしい子について ～夢をもたせる豊かな心～

- ◇ ⑥の「自分の子どもは、学校での毎日が楽しいと感じている。」の項目では、保護者アンケートの肯定的評価が93.5%、児童アンケートの肯定的評価が94.0%でした。特によかったのが、児童の「そう思う」と答えた割合で70.3%でした。

2学期も引き続き、子どもたちが教師や友達・地域の人々などのかかわりの中で、所属感や自己有用感をもち、互いに認め合い、協力し合い、楽しい学校生活を過ごせるように、教育活動の一層の充実を図っていききたいと考えています。
- ◇ ⑦の「自分の子どもは、自分が持っているよさを発揮している。」については、保護者・児童・教職員とも86%を超える肯定的評価となりました。

本校では、子ども一人一人がかけがえのない存在として自他を認め、互いの違いを尊重し信頼し合う学級づくりを目指し、子どもたちが自分のよさや可能性を実感できるような取組を計画的に進めています。いろいろな機会に、その取組がご家庭に伝わるよう情報提供をし

ていきたいと思ひます。

- ◇ ⑧の「自分の子どもは、友だちとのかかわりを大切に学校生活を送っている。」については、児童95.3%、保護者92.8%と高い評価をいただきました。けれども、マイナス評価の子どもが、昨年度6人に比べ今回は13人いました。

学校経営「五小ブランド」の中で、「夢に向かって磨く豊かな心」として、人間的な触れ合い深める集団活動や体験的な活動の充実を重点事項の一つに掲げています。相手の思いに共感し、相手の考えを理解する「かかわり合い」を大切に「清掃活動」「集会活動」「クラブ活動」「縦割り班活動」等を通して、友だちと仲よく活動に取り組む子どもが多く見られるようになってきました。今後も「かかわる・つながる・やり抜く」をキーワードに、学校内外で様々な体験的な活動をすすめていきたいと考えています。

- ◇ ⑨の「自分の子どもは『家の人から認められている』と思っている。」については概ねよい評価でした。

児童の91.7%が肯定的評価をしていることから、家庭でのかかわり合いが十分に行われ、子どもが自己有用感を高めていることが分かりました。学校では、子ども一人一人のよさを認め、伸ばしていくことができるよう積極的な声掛けや働きかけを行うとともに、引き続き家庭との連絡・連携を密にしていきたいと考えています。

- ◇ ⑩「自分の子どもは、将来の夢や目標をもっている。」について、保護者アンケートでは肯定的評価が73.3%とやや低めでしたが、児童アンケートでは95.7%と高い結果となりました。

⑪「先生たちは、子どもに夢（めあて）をもたせ、子どものよさを伸ばす指導をしている。」

⑫「先生たちは、子どもに寄り添い、成長を願い、生活指導をしている。」については、保護者⑪78.7%⑫90.5%、児童⑪94.3%⑫97.1%という結果でした。

学校教育目標「夢高く 心たくましく 学び合う五小の子」には、子ども一人一人が夢をもち、その実現に向けて明るく未来を切り開き、たくましく生き抜いてほしいという願いが込められています。グローバル化・情報化が急速に進む今日、夢に向かってチャレンジし、新しい自分を創造していく基礎となる力をしっかり身に付けることが、義務教育段階ではとても重要だと考えています。教職員一丸となって子どもたちを育てまいりますので、ご家庭でも、子どもの夢に寄り添い将来の夢について対話を重ね、目標に向かって明るく元気に挑戦し、粘り強く頑張ることができるよう機会を捉えて励ましてくださるようお願いいたします。

Ⅲ 学校全体について

- ◇ ⑬「学校全体で努力していこうとする姿勢が感じられる。」と⑭「学校の方針等を定期的に伝えている。」については、保護者の肯定的評価が⑬92.0%⑭95.1%と高い評価をいただきました。学校報「あさひ台」や校長室だより「校長室の窓から」、学年・学級通信及び各種通信などで、今後も子どもたちの活動や学校経営方針、教師の思い等をしっかりと家庭や地域に発信していきたいと思ひます。

- ◇ ⑮「来校しやすい雰囲気づくりに努めている。」⑯「(建物は古くなってきているが)教室や校舎内外の環境整備に努めている。」については、保護者の肯定的評価が⑮85.9%⑯85.5%と概ねよい評価でした。本校校舎は昭和43年に完成したもので、大変古くなっておりますが、日常の安全点検をしっかりと行っています。この夏には1年部、特活室前の廊下のサッシを交換するなど、町教育委員会と常に連絡を取り合っており、計画的に修繕をし、よりよい学習環境の整備に心がけています。児童の安心・安全が最優先ですので、事故防止のためにも修繕や清掃活動などに力を入れながら大切に使用しております。

町では、五城目小学校の老朽化による教育環境の悪化に伴い、将来の五城目町を担う子どもたちの健やかな成長のため、学校改築に向けた事業を進めています。保護者の皆様から寄せられた新しい学校へのご要望は町にしっかりと伝えました。貴重なご意見をありがとうございました。

Ⅳ メディアの視聴・利用について

◇ ⑰「メディア視聴・利用の約束を決めている」、⑱「メディア視聴・利用の約束を守っている」については、肯定的評価が保護者⑰79.1%⑱62.0%、児童⑰80.6%⑱83.5%となっています。昨年度と比べると児童の評価はあまり変わりませんが、保護者の評価が⑰3ポイント⑱7ポイント低くなっています。保護者と子どもの間に認識のズレがあるご家庭もあるようですので、今一度親子の対話により各家庭でのルールを確かめていただきたいと思います。

国や県の調査でも、本校の児童はここ数年、テレビ等の視聴時間（学習を除く）やゲーム時間が長く、一日（月～金）に3時間以上も費やしている子どもが多いことが明らかとなっています。これは、本校児童の生活課題となっており、子どもたちに指導すると同時にPTAや通信等で家庭にも呼びかけております。

豊かな心の育成に欠かせない基本的な生活習慣の一つとも言える「メディアの視聴・利用時間」の改善を図ることは、児童の学習習慣・学力向上につながるものと考えています。本校では、平均一日2時間以内を目安に指導していますので、改めてご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。

Ⅴ まとめ

◇ 今回の保護者アンケートの回収率は全体で93.9%でした。お忙しい中ご協力くださいまして、本当にありがとうございました。

今回の中間評価では、各項目において概ねよい評価をいただきました。高学年では、「6年生になってぐっと学習に対する意欲が高まった気がしています。」「最上級生としての意識が高まったのか、とても楽しい毎日を過ごしているようです。」「縦割り班などで、リーダーとして自覚をもつことができている。」というご意見に見られるように、6年生の頑張りに対する保護者の評価が向上しています。低学年の保護者からは、「入学したての頃と比べると字がとても上手になりました。」「とても楽しく学校生活をおくれています。」「毎日の宿題プリントやきらりのうとが大変なようですが、毎日やる癖がつきとても良いと思います。」というようなご意見を多くいただきました。反面、「まだ机に向かって長時間勉強する癖がついていないので声かけをしながら慣れていってもらえたらと思っています。」「子ども一人一人にもっと目を向け、指導の方に力を入れてもらいたい。」というご意見もありました。今後も引き続き、子ども一人一人に寄り添った指導の在り方を工夫していきたいと考えています。ご家庭でも、子どもたちへの声掛け、励ましをよろしくお願いいたします。

◇ また、メディアの視聴・利用については「だらだらとゲームをさせてしまっている気がします。時間を守るように指導します。」「1日何分と決めているものの守れていないので、気を付けて声かけしようと思います。」というようなご意見がありました。ルールを決めずにやらせると、どうしても長時間利用になってしまいがちな子どもが多いようです。「メディアを全くしない日を作って、家族で楽しく過ごす日を作る。」「ゲームを買い与えない。」「家にはテレビがありません。」というご意見もいただきました。学校でも利用時間について指導しますが、ご家庭でも約束を設けしっかり守るように引き続きご指導をよろしくお願いいたします。

◇ 第2回学校運営アンケートについては、平成29年12月11日（月）から実施する予定です。これからも学校からの情報発信を積極的に行い、「家庭・地域社会と共に歩む、社会に開かれた学校」をめざして経営に努めてまいります。今後とも、どうかよろしくお願いいたします。

VI 学校関係者評価委員会から（感想・意見等）

【家庭でできること】

- 来年度から道徳が教科になり、外国語の授業時数も増え、学校は忙しくなると思う。先生方のストレスも増えるだろう。多忙化が原因か、全国的に心の病で休んでいる先生方も増えていると聞いている。親が忙しいからといって何でも学校や学童クラブに任せるとするのは親としてどうなのかなと思う。家庭では、はしの持ち方やほうきの使い方、メディアの時間の守り方など、子どもたちの基本的な生活について教えるようにしている。家族で、どんな子どもに育ててほしいかを考えて、家庭でできることは家庭でやるという考えが大切だと思う。学校に100%任せるとするのはおかしいと思う。

【地域でできること】

- 来年度から外国語の時間が増えるが、先生を増やすことはできるのだろうか。予算は増やせるのだろうか。子どもたちのレベルを上げるために地域の力を借りたいものだ。

【親子のコミュニケーションに関すること】

- ゲームをやるときは親子で一緒にやるなど、何かを一緒にやることで、心と心のふれ合いがもてるのではないかなと思う。ネットトラブルに巻き込まれないためにも親子で一緒にやるというのが大事ではないか。勉強をするときも、個室ではなくリビングなどでやるのがよいかも。ゲームを子ども部屋に持って行かせないなどの工夫が必要である。家では、ゲームは1時間と決めて、約束を守らないとしかるとか、それでも守らない場合はゲームを没収するようにしている。

【子どもの姿に関すること】

- 家ではお手伝いをさせるようにしている。勉強以外のことも生きていく上で必要である。家庭でもきちんと教えたい。項目を決めて子どもにチェックさせて、できたら丸を付けるのはどうだろうか。兄弟で教え合うこともあると思う。
- ゲームは親に隠れてやってほしくないなので、部屋に持って行かせないようにしている。
- 子どもにゆとりが必要だと思う。何事も決めつけないことが必要である。子どもはいろいろ違ってよいと思う。子どもを型にはめないようにしたい。
- 盆踊りの練習のとき、6年生が1年生に声をかけて体育館に誘っている姿を見て感動した。こういうことが自然にできるのは素晴らしいことだ。

お忙しい中、アンケートにご協力くださりましてありがとうございました。学校・家庭・地域との連携・協働を強め、課題解決に向かって努力してまいりますので、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



（文責 校長 戸部裕隆）